

(ビッグデータ・オープンデータの活用－N－8)

シズオカ型オープンデータシステムの推進
(静岡市)

【概要】

静岡市では、「みんなでOPEN！」をキャッチフレーズに、本市が保有する情報を許可されたルールの範囲内で誰もが自由に複製・加工でき、営利・非営利を問わず、商用利用もできる「オープンデータ」として提供する取組を推進しています。

【コラム】

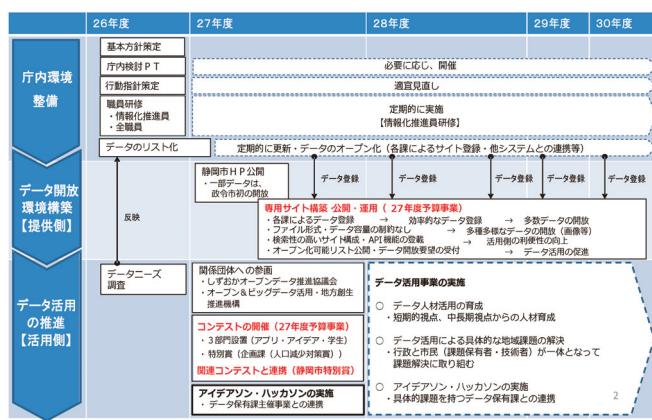
1 背景

近年、情報通信技術の急速な発展により、システム中心の社会からデータ中心の社会に移行しており、新サービスの創出やビジネスの活性化に「データ」が重要視されています。また、新たな行政の在り方として、より透明性を高め、市民の参画や行政と市民との協働を促進する（オープンガバメント）流れを受けて、公共データの開放（オープンデータ）への関心が高まっています。

2 事業概要

平成25年度に関連セミナーへの参加や先進自治体視察等の調査・研究を行い、先進自治体の課題等を踏まえ、「全庁的かつ継続的な体制作り」「職員の意識改革」「「利活用」に重点を置いたデータ提供」を本市のオープンデータの取り組み方針とともに、

① 庁内環境の整備 ⇒ ② データ開放環境構築 ⇒ ③ データ活用の推進
と、段階を踏んでオープンデータの取り組みを推進しています。



<図表1：オープンデータ取組全体図>

3 庁内環境の整備（26年度）

オープンデータの取組を全庁的に行うため、まず初めに、副市長を本部長とする局長級会議である静岡市情報化推進本部にて、「静岡市オープンデータ基本方針」を決定しました。また、庁内関係課によるプロジェクトチームを設置し、総務省ICT地域マネージャー制度を活用して外部有識者の助



特集1 ICTを活用した取組の紹介

言・指導を受けながら、提供データの策定方針、提供ルールの検討等、具体的な事案に対する議論を行い、その結果を「シズオカ型オープンデータシステムの推進に関する指針」として具体的な行動指針を策定しました。

さらに職員の意識改革のため、全職員を対象にオープンデータ研修を実施しました。

4 データ開放環境の構築（27年度～）

27年10月にオープンデータ専用サイトを公開して、多種多様なデータの提供や検索性の高いサイト構成等によりデータ活用側の利便性の向上を図るとともに、一般の方にも馴染みやすくするため、地図やグラフなどデータを可視化して提供しています。

また、オープンデータ化可能リストを掲載し、データ要望により随時オープンデータ化する「利活用」に重点を置いた取り組みを行っています。



<図表2：オープンデータポータルサイト>

5 データ活用の推進（27年度～）

提供データの活用を促進するために、アイデアイベント（アイデアソン）やアプリ開発イベント（ハッカソン）を民間企業等と連携して実施しました。

また、アプリコンテストを開催し、コンテストでは、「アイデア部門」「学生部門」を設け、技術者のみならず、広く一般からデータを活用した「静岡を元気にする」アプリやアイデアを募集しました。

今後は、データ活用人材の育成、オープンデータを活用した具体的な地域課題の解決、各課個別事業へのオープンデータ活用を推進していく予定です。



<図表3：シズオカアプリコンテストパンフレット>

6 事業費

- ・オープンデータカタログサイトの構築・運用経費 予算額：5,900千円
- ・公開データ活用のための普及啓発活動費 予算額：1,000千円

[参考URL]

- ・静岡オープンデータポータルサイト <http://open.city.shizuoka.jp/>
- ・静岡市オープンデータ基本方針 <http://www.city.shizuoka.jp/000682747.pdf>
- ・シズオカ型オープンデータシステムの推進に関する指針
<http://www.city.shizuoka.jp/000682748.pdf>

[問い合わせ先]

- ・静岡市総務局情報管理課情報化推進係
- ・電話番号：054-221-1341 FAX番号：054-254-3915
- ・e-mail：joho@city.shizuoka.lg.jp